

食と農と暮らしと。あなたをリードするアクティブ・マガジン

かながわ西湘

2024

11

vol.218



4世代で農業を継承

市川 チエ子さん
酒匂／小田原市小八幡

露地野菜4aを栽培
特技は日本刺繍

小田原市小八幡地区の住宅街の一角にある畑で露地野菜を栽培している市川チエ子さん。毎日、夜が明けると畑に行き草むしりをするのが元気の秘訣です。嫁ぎ先は「半農半漁」で、夫は漁師だった。24歳で結婚。今年65年以上になります。今年6月に娘夫婦の好江さん、優二さんや孫の阿紗さん、ひ孫の菜和ちゃん、百奈ちゃん、4世代でサツマイモの「ベニアズマ」と「べにはるか」の苗を植え付けました。9月下旬には大きく育ったサツマイモをみんなで収穫しました。菜和ちゃん、百奈ちゃんはそんなチエ子おばあちゃんが好き。保育園から戻ると「ピーピーちゃん」と言いながらチエ子さんのひざの上に座ります。休みの日にはもちろん畑で農業のお手伝いをしてくれます。

チエ子さんは「葉物はまだまだ若い者には任せられない。冬野菜のホウレンソウやハクサイの準備をそろそろ始めなければ」と今日も押し車で畑へ向かいます。

開成事業所の施設再編に向け

解体工事に伴う清祓儀式

開成事業所は旧あしがら農協の本店機能として長年その役割を担ってきました。平成18年9月には旧小田原市農協と合併し『かながわ西湘農協』が誕生。その後は組織活動や営農経済部門の拠点とした開成本部を経て、開成事業所となり物流事業や子会社であるJAかながわ西湘エネルギー(株)の本社として機能してきましたが、このほど施設の再編により解体することになりました。



清祓儀式で玉串奉奠を行う天野組合長

昭和43年に上郡、山北町、南足柄町農協が合併し、昭和44年4月に足柄上郡一円の『あしがら農協』が誕生しました。現在の開成事業所は昭和45年3月に本所事務所として落成。協同組合の「よりどころ」として位置づけられ「郷土に緑を、くらしに夢を」をスローガンに活動してきました。『かながわ西湘農協』が誕生してからは開成本部、開成事業所、エネルギー(株)本社として利用され、54年間という長きにわたりJAの主要施設としての歴史を刻んで参りました。

りましたが、このほどその役目を終えることとなりました。

9月24日には、解体に先駆け開成事業所で清祓儀式が行われました。常勤役員、歴代の常勤理事、子会社支配人や関係者などが出席され、寒田神社の藪田宮司による神事が執り行われました。

天野組合長は「平成18年9月に『かながわ西湘農協』が誕生し、今年で19年目を迎えます。今後も総合事業を通じて多くの地域みなさまに地域社会の貢献を目指した活動をして参ります」とあいさつされました。

開成事業所は、令和6年11月から令和7年3月末まで解体工事が行われます。解体工事期間中は騒音や振動等多大なご迷惑をおかけすると存じますが、安全、騒音等に万全の注意を払いますので、何卒ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

JAかながわ西湘エネルギー(株)

新社屋へ

JAかながわ西湘エネルギー(株)は旧本社の同一敷地内に新社屋を建設いたしました。



JAかながわ西湘エネルギー(株)の新社屋

10月29日からは新社屋で営業を開始いたします。住所や電話番号等の変更はございません。今後もお引き立てを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

『虹のホール開成』小ホールの一時利用中止のお知らせ

開成事業所の解体作業にあたり、JAかながわ西湘葬祭(株)『虹のホール開成』小ホールは11月1日から令和7年1月末まで利用を中止させていただきます。家族葬につきましては大ホールにて行います。なお、解体工事に伴い、多少の騒音や振動などがある場合がございます。ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

大窪・早川支店が統合『城南支店』に

令和7年5月に大窪・早川支店が統合することになり、その新支店の名称が『城南支店』に決まりました。令和7年5月にオープンを迎える予定です。支店名は両支店の組合員・利用者等から広く募集。220通の応募があり、両支店の運営委員会等を経て、理事会において決定しました。



理事会だより

主な議題

令和6年9月26日

令和6年産米穀概算金価格について

令和6年産出荷契約米の概算価格が報告されました。『はるみ』の概算価格は前年に比べ1等3等米まで150円の増額。『てんこもり』は前年に続き、全集荷終了後に30kg当たり150円の助成金をお支払いします。

有価証券評価損の対応について

日銀による政策金利の引き上げ等に伴い、当JAが保有する有価証券の債券価格は下落し評価損が増加していることから、今後の対応について協議したところ承認されました。対応内容は、11月から各支店で開催する組合員座談会で詳細に説明していくことも併せて承認されました。

ウメの冬季せん定について

【時期】 11月上旬～12月 芽が膨らむ前にせん定を行いましょう。（芽を傷める恐れがあるので、ノコギリせん定は早めに！）

【結果習性】 今年伸びて充実している枝に花・果実をつける。緑色の短果枝（5～10cm）・中果枝（10～20cm）に良好な果実がなるので、緑色の枝の確保がせん定のポイントになります。

【せん定の手順】

①縮伐・間伐（独立樹）

周り樹と重なり合わないよう、樹間は十分に空ける事が重要です。成木の主幹と主幹の距離は、7mが基本です。

②骨格作り（主枝・亜主枝）

・開心自然形・低樹高とし、目通りの収穫しやすい場所を多くします。

※主枝は一樹に3本を目安にし、亜主枝は必要に応じて配置しましょう。

・主枝・亜主枝のせん定

※骨格（主枝・亜主枝）を明確にし、働く枝（結果枝）を多くします。

（栄養分の無駄遣いになるので、必要以上に太い枝は作らないようにします）

※採光・作業性を低下させる「内向枝・平行枝・くるま枝・逆行枝」を整理し、主枝・亜主枝の先端部から枝元にかけて三角形に側枝を配置し、樹の骨格に近い位置に若い枝を配置できるよう切り戻しせん定しましょう。

※先端部は1本とし、先端を明確にし、強く切り返します（ウメは頂芽優勢の性質が強く、先端の2～3芽が強く伸長します）。

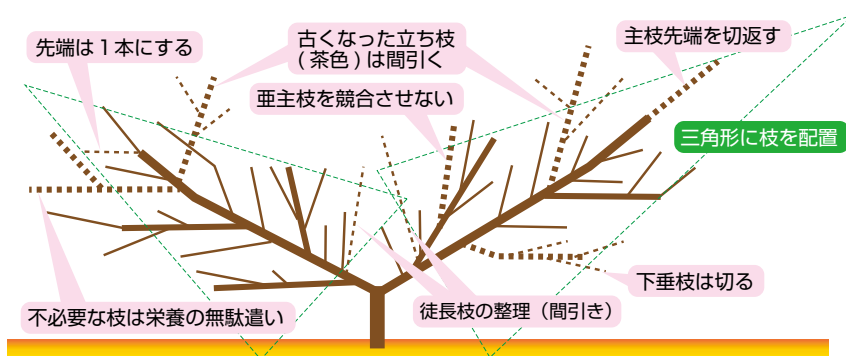
③結果部分の整理

・結実しやすく、肥大の良い短果枝を大切にしましょう。

・肥大の悪い下垂枝、枯れ枝を取り除きます。

・古い枝を更新しましょう（着果させた結果枝は2年以内で更新するのが理想です。長くても3～4年。木肌の色が茶色になったら更新しましょう）。

・結果枝（側枝）が先端部に移行している樹や樹勢の低下により新梢の発生が少ない場合は、切り戻して新梢の発生を促します。



④予備枝の確保（予備枝剪定）

・目通り、樹間内部の結果層を多くするのが目的です。

・骨格枝の横から出た徒長枝を使用します。枝の基部が茶色になりかけている徒長枝は原則、使用しません。

・先端を少し切返すと、春に短～中程度の長さの新梢が発生します。充実しやすいので花芽を着けた短・中果枝になります。

・強く切返すと新梢が強く伸びすぎて、花や果実の着きが悪くなるので、枝の強さにより調整しましょう。判断できなければ、切り返さないようにします。

令和6年産米の追加集荷の実施について

・集荷日…令和6年12月6日（金）

・集荷場所および搬入時間…

JAかながわ西湘 福沢総合選果場 午前8時45分～11時00分

JAかながわ西湘 成田総合選果場 午後1時30分～3時00分

・集荷対象品種…学校給食対象品種（はるみ・てんこもり・キヌヒカリ・さとじまん・コシヒカリ）



※出荷を希望される方は令和6年11月25日（月）までに最寄りの支店へご連絡ください。なお、6年産米の集荷は今回が最終となります。

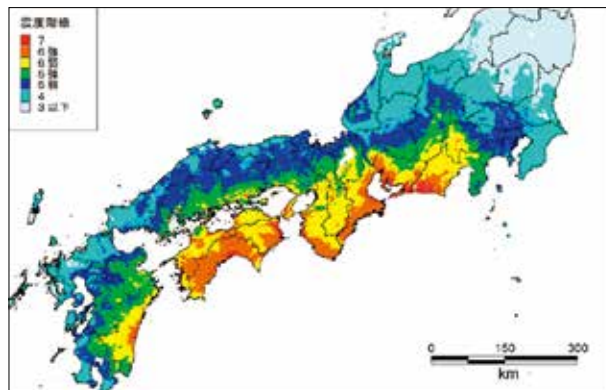
特集 地震に備える



令和6年1月1日にマグニチュード(M)7.6の能登半島地震が発生。建物の倒壊や津波などで多くの人が被害に遭われ今なお避難生活を余儀なくされています。8月8日には、宮崎県日向灘沖を震源とするM7.1の地震が発生し、南海トラフ地震臨時情報『巨大地震注意』が初めて発表されました。また、8月9日にも松田町を震源とするM5.3の地震が発生したのは記憶に新しいと思います。地震はいつ起こるか分かりません。もう一度、地震への備えについて考えてみませんか。

南海トラフ地震について

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として、100～150年の間隔で繰り返し発生している大規模地震です。関東から四国・九州にかけての広範囲に被害が及ぶとされ、右図は震度分布を表しています。神奈川県でも強い揺れになることが分かります。



出典：気象庁ホームページ▶

(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/assumption.html>)
「南海トラフ巨大地震の震度分布（強震動生成域を陸側寄りに設定した場合）」



地震が発生したら

慌てた行動はケガの元。落ち着いて身の安全を確保することが大切です。

屋 内…机の下など安全な所へ隠れ、身を守りましょう。無理に火を消そうとせず、揺れが収まってから火を消しましょう。

屋 外…ブロック塀や自販機、電柱や看板などから離れましょう。海岸でグラツときたら、高台へ避難しましょう。

運転中…周囲に注意喚起をするためハザードランプを点灯し、緩やかに減速して道路の左側に停車しましょう。車から離れる場合にはカギをつけたままにしましょう。

日頃から備えましょう

倒れないように家具は固定しておきましょう。非常持ち出し袋や在宅避難用の備蓄品を用意するなど日頃からの備えが肝心です。また、家族でいざという時の集合場所を話し合い、ハザードマップなどで避難経路や避難場所を確認しておくことも大切です。ここでは、非常持ち出し袋の備えの一例をご紹介します。

- ☐ 水（1人1日2～3ℓ）
- ☐ 食品（レトルト食品、乾パンなど最低3日分の用意）
- ☐ 防災用ヘルメット・防災ずきん
- ☐ 衣類・下着
- ☐ レインウェア
- ☐ 運動靴
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 予備電池・携帯充電器
- ☐ マッチ・ロウソク
- ☐ 救急用品（ばんそうこう、包帯、常備薬など）
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ ブランケット
- ☐ 軍手
- ☐ 洗面用具

- ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉
- ☐ タオル
- ☐ ペン・ノート

感染症対策にも有効です！！

- ☐ マスク
- ☐ 手指消毒用アルコール
- ☐ 石けん・ハンドソープ
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 体温計

一緒に持ち出そう！！

- ☐ 貴重品（通帳、現金、運転免許証、病院の診察券など）
- ☐ 携帯電話



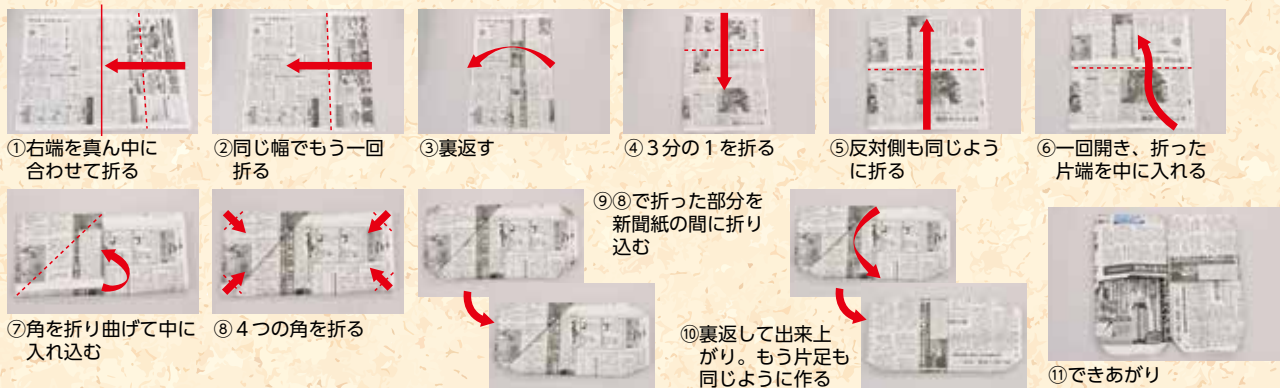
（「災害の「備え」チェックリスト」首相官邸ホームページ▶
(<https://www.kantei.go.jp/jp/content/000111250.pdf>) をもとに作成）



簡単工作！防災グッズ！今すぐ作れるグッズをご紹介します

……………新聞紙スリッパを作ろう！……………

●用意するもの 半分に折った新聞紙 2 枚



……………オリジナル防災ボトルを作ろう！……………

●用意するもの

・プラスチックボトル

・防災グッズ

ホイッスル、食べ物（ようかん、アメ等）、ばんそうこう、現金（小銭）、ライト、マスク、ウェットティッシュなど



①ボトルを用意

ボトルに入ると持ち運びも楽々。カバンに入れておくと安心です。

②①に、防災グッズを入れる



先人の記録から学ぼう

開成町の『古民家ガーデン紋蔵』で発見された『大地震之かぞえぶし』には、関東大震災の様子が記録されています。古民家の管理人、志澤晴彦さんに話を聞きました。



志澤晴彦さん
(古民家ガーデン紋蔵の管理人)

『大地震之かぞえぶし』は大正12年9月1日に起きた関東大震災の状況が七五調で記されています。山や家が崩れ、泥水が一面に溢れる様子や「いまハジ志んで（今は地震で）いのちがけ（命がけ）かわいいわがこも（可愛い我が子も）すてをいて（捨て置いて）にしよひがしと（西に東に）にげまよう（逃げ迷う）」と命がけで逃げ惑う人々の姿が描かれ、当時の息遣いを感じることができます。過去の災害は風化しがち。特に関東大震災は、震源地が松田町で県西部も甚大な被害に見舞われましたが、皆さんの記憶からは忘れ去られています。地震はいつか必ず起きます。もう一度、過去の震災から学び、備える必要があるのではないのでしょうか。過去から学ぶには、こういった資料以外にも例えば震災から水道を復興した記念に建てられた石碑などからも学ぶことができます。この地域に住む先人が遺した記録を学び、次の震災へ備えましょう。

『古民家ガーデン紋蔵』では琵琶の弾き語りで『大地震之かぞえぶし』を伝えるイベントも行いました。今後もこの資料を守り、後世へと震災の記憶をつないでいきたいです。



大地震之かぞえぶし
※古民家ガーデン紋蔵で見ることができます



古民家ガーデン紋蔵

住所：開成町金井島1294

電話：0465-44-4151

営業日・時間：木・金・土・日、11時～16時



詳しくはこちら↓

<https://www.ja-kyosai.or.jp/okangae/home/>

建物更生共済の加入をおすすめします！

災害により住宅に被害があった場合、「被災者生活再建支援法」により国から最大300万円の支援金（※被害割合や住宅の再建方法などにより額は異なります）が支給されますが、再建には、もっと多くの費用が掛かります。公的な保障で補えない部分の備えとしてJAの『建物更生共済』の加入をおすすめします。



詳しくは支店窓口までお問い合わせください

おいしさの秘密を学ぶ

～下中小で『下中たまねぎ』の授業～

JAは9月12日、下中小学校の5年生に『下中たまねぎ』についての授業を行いました。同校の5年生は総合的な学習の時間で『下中たまねぎ』について学んでいます。

当日は、下中玉葱生産部の石塚幹博部長が講師となり「この地区は山に囲まれているため温暖で、牛糞堆肥による肥沃な土壌と相模湾からの海風により甘く柔らかく育つ」と味の秘密を解説。また、年間の作業や農業が抱える問題についても話しました。児童は「農業の大変さや下中たまねぎが甘い理由を詳しく知ることができた。多くの人に伝えたい」と目を輝かせていました。



おいしさの秘密を教える石塚部長



選ばれた4レシピと開発した学生

梅干しの新しい魅力を給食で

～小田原短大でレシピコンテスト開催～

小田原梅ブランド向上協議会は9月18日、小田原短期大学と連携し、梅干し給食レシピコンテストを開催しました。小田原市内の学校給食に採用するレシピを選ぶコンテストで、食物栄養学科の学生が『梅茶碗蒸し』や『梅丸ちらし寿司』など11メニューを発表。審査は学校給食に携わる栄養士が行い、選ばれたのは『タラの梅マヨパン粉焼き』『チキンの梅ソース』他2レシピ。協議会では「今回開発されたレシピは今後、冊子にして市内で配布する予定。学生が見つけた新しい梅干しの魅力をぜひ味わって」と呼びかけています。

新・湘南ゴールドの

お土産誕生！

～ちぼりがFMヨコハマとコラボ～

湯河原町の株式会社ちぼりスイーツファクトリーは、FMヨコハマ『ちようどいいラジオ』とコラボした新商品『湘南ゴールドブラウニー』を発売しました。果汁を加工する農家から「湘南ゴールドの皮や房は使い道がなくもったいない」という話を受け、番組スタッフと開発をスタート。試行錯誤を重ね、ピールを細かく刻んでブラウニー生地に練り込むことで、ダークチョコレートの上品な甘みと湘南ゴールドの爽やかな香りが口いっぱいに広がる逸品に仕上げました。鳥居洋之代表取締役社長は「神奈川の新土産として広めてもらえたら」とPRしています。



新商品の湘南ゴールドブラウニー

レクを通じて交流を

～女性のつどいを開く～

J A女性部は9月10日、小田原アリーナで『女性のつどい』を開きました。今年度はレクリエーションを通じて親睦を図るイベントに、部員や職員など342人が参加。『パラバールン』や踊りなどを行い交流を深めました。当日はサイコロを転がして勝運を競う『サイコロころころ』や農産物を運ぶ速さを競う『朝ドレリレー』などを楽しみ、『ファッションモンスター』では職員を仮装させ会場は大盛り上がりでした。

部員からは「以前のようなスポーツ競技ではなく参加しやすかった。久しぶりに大きな声で応援したり笑ったりして、心も体もリフレッシュできた」と話していました。



パラバールンを楽しむ部員



仮装で華麗に変身

笑いヨガで健康アップ!

～助け合い組織すみれ会フォローアップ研修～



貝になった気分で「バカーン」と口を開けて笑ってご挨拶。
⑥講師の菊入さん

9月18日に助け合い組織すみれ会は本店でフォローアップ研修会を開きました。会員など12人が参加し、笑いを通じて健康体操を学びました。講師は湯河原町の菊入亜紀子さん。笑いヨガは笑いとお腹呼吸を組み合わせた体操で、免疫力アップや認知症予防も期待できます。研修会ではリズムに合わせて深呼吸したり、向き合って笑ったりすることで体が温まり、ストレス発散にもなりました。

関田雅代会長は「今日学んだ笑いヨガを各支店で行うミニ・デイサービスに活用してください」と呼びかけました。

日本農業賞(集団組織の部)現地審査会開かれる

～『開成弥一芋研究会』が県代表に～

日本農業賞の集団組織候補者である『開成弥一芋研究会』の現地審査会が9月24日に行われました。日本農業賞は日本農業の確立をめざして、意欲的に経営や技術の改善に取り組み、地域社会の発展に貢献している農業者と営農集団、食や農の担い手として先進的な取り組みをする個人や集団組織を表彰しています。

同研究会は現在22戸の農家が栽培しています。当日は、辻理孝会長が開成弥一芋のおいしさをアピールするとともに、畑で栽培方法を審査員に説明しました。結果については来年の1月下旬から2月上旬に発表されます。



芋の栽培について説明する社会長

インフォメーション

成田支店 まっり

日 時：令和6年11月9日(土)
9:30~14:00
場 所：朝ドレファ〜ミ 成田店
職員駐車場(店舗裏側)
(小田原市成田650-1)
◎人気キャラクターのふわふわドーム
◎お米ができるまでを学ぼう

成田支店 ☎ 0465(36)3166

岡本支店 秋の収穫祭

日 時：令和6年11月9日(土)
9:30~14:30
場 所：岡本支店駐車場
(南足柄市塚原1579)
◎地元野菜の販売
◎足柄茶の販売
◎肥料農薬予約注文
◎キッチンカー

岡本支店 ☎ 0465(74)1611

大井支店 まっり

日 時：令和6年11月16日(土)
10:00~15:00
場 所：大井支店駐車場
(大井町金子1464)
◎地元野菜の販売
◎人気キャラクターのミニショー
◎足柄茶の販売
◎キッチンカー

大井支店 ☎ 0465(82)0154



ハルネ店10周年感謝フェア

令和6年11月10日(日)・11日(月)は

全品 10%引き

★10日(日)はLINE来店ポイント10ポイントをプレゼント



農業者年金で老後の生活を安心サポート

加入 資格

- ★年間60日以上農業に従事
- ★国民年金の第1号被保険者(保険料納付免除者を除く)
- ★20歳以上65歳未満の者(60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者)

特徴 メリット

- ★積立方式・確定拠出型の年金
- ★通常加入の場合、保険料の額は自由に選択
- ★年金は生涯受給。80歳前に亡くなったら死亡一時金が支給
- ★国庫補助(一定要件あり)や税制面の優遇措置



お問合せ先：相談課 ☎ 0465(47)8176 または各農業委員会へ

農業機械・自動車展示相談会を開催します

日 時：令和6年11月22日(金)・23日(土)
9:00~15:00
場 所：JA全農かながわ西部農機・自動車センター
(大井町上大井238)
内 容：農業機械・自動車の展示、販売
期間中は愛車無料点検を実施しています

同時開催

農業機械安全講習会

23日(土) 13:00~14:00
株式会社丸山製作所によるチェーンソー等の
安全な取扱いについて

詳しくはJA全農かながわ西部農機・自動車センターまで ☎ 0465(83)4171

税務相談会・相続対策個別試算相談会及び法律相談会の 日程についてはホームページよりご確認ください

各相談会日程は
こちらから→



お申込み・お問合せ先：相談課 ☎ 0465(47)8176

[https://ja-kanasei.or.jp/
member/kumiai/schedule](https://ja-kanasei.or.jp/member/kumiai/schedule)



JAかながわ西湘

本店 〒250-0874 神奈川県小田原市鴨宮627番地
TEL:0465(47)8125

- かながわ西湘11月号(vol.218) 令和6年10月20日(毎月20日発行)
- 発行/かながわ西湘農業協同組合 ●発行責任者/宇留間優
- 編集/組織企画部組織広報課

JAかながわ西湘ホームページ▶<https://ja-kanasei.or.jp/> 